



## ブロックチェーン上のP2P VPNネットワークを利用した 世界初のインターネット帯域幅マーケットプレイス

### 問題

まず、現在のインターネットの問題は、検閲と、公平にネットワークにアクセスすることを前提としたネットワークの中立性が否定されている点にあります。これは中国やイランだけでなく、オーストラリア、ドイツ、米国でも存在しています。

第2の問題はサイバーセキュリティです。現在我々が使用している方法は技術的に複雑で、一般の人のもとより、中小企業でさえも、信頼性の高い暗号方式を使用したデータ保護を行っていないのが現状です。

第3の問題は速度です。インターネットは世界中をカバーしていますが、どこでも同じように回線が速いわけではありません。コンテンツのデータ量は年々増加しているにもかかわらず、配信コストが同じ割合で減少しているわけではありません。

### 利用方法は？

ネットワークには2つの主体があります。インストールしたソフトウェアを使い、帯域幅を販売するのがAgent。そして直接またはサードパーティーのアプリケーションを使って帯域幅を購入する側がClientです。

例えば、Agentは自宅のPCの10%のブロードバンドをPrivatix network用に提供するだけで報酬を得ることができます。

Clientは、例えば、モバイルVPNアプリケーションでデータを保護し、サイトを解除し、Agentsの複数の出口ノードを使用してトラフィックをリダイレクトします。

### クリプトエコノミーとtokenのユーティリティ

帯域幅取引の決済はすべて1種類の暗号通貨で行われます。帯域幅を購入したいという欲求がtokenの需要の燃料になり、両替所でtokenを他の通貨に交換して報酬を得たいという欲求が供給の燃料になります。当社の推定では、ICOでの初期のtokenの交換レートは、ネットワークを開発した場合に到達する均衡点に比べて、10分の1または100分の1安い価格になると予測しています。

### 解決策

The Privatix networkはブロックチェーンを利用した分散型完全自律型P2P VPNネットワークで、各ユーザーが各自のインターネット帯域幅を他のユーザーにシェアすることを可能にします。つまり他のユーザーのブロードバンドチャネルを購入することができます。このネットワークはブロックされず、データは暗号化され、暗号通貨により決済されます。

### ソリューションの利点は？

現在、インターネットユーザー35億人で、平均6.1Mb/sの速度ですが、その数は2022年には50億人に達します。活用されていない帯域幅は非常に需要が高だけでなく、世界のすべてのユーザーに対して適用できるため、非常に大きな供給のポテンシャルがあるといえます。同時に、双方が満足する形で帯域幅を売買するソリューションは他に存在しません。

